

提携講座(筑波大学人文社会系)つくばSDGsマイスター講座		場所 つくば教室
講座名	New ! SDGsから振り返る日常生活～私たちにできること	
講師	筑波大学人文社会系講師陣	
講義日時	第1、第3金曜 10時～11時30分	
受講料	藝文友の会会員3,300円 一般4,950円(税込・5回分)	
講座内容	<p>地球の未来を見据えつつ、私たちに何ができるだろう。日常に潜む様々な違和感の一つ一つにこそ未来を考えるヒントがあります。持続可能社会を築くための達成目標SDGsを学び、この地球の未来をとともに考えていきましょう。</p>	
①10/4	横山 剛(仏教学)	
	<p>しあわせのかたちを考えてみよう:インド仏教とSDGs</p> <p>21世紀を生きる私たちの目標であるSDGs。それは私たちの考える(しあわせのかたち)でもありません。しかし、それは、いつでも、どこでも、だれにでもあてはまるものなのでしょうか。私たち日本人になじみ深い宗教である仏教の信徒たちも、しあわせについて本気で考え、それを実現するために努力を重ねてきました。今回は時代と地域と文化を飛び越えて、仏教の原点であるインドを訪れ、インド仏教徒の視点からSDGsをみてみましょう。彼らの目にそれはどのように映るのでしょうか。私たちが慣れ親しんでいる価値観や常識から視点を移してSDGsを内外から観察し、(しあわせのかたち)について考えてみましょう。</p>	
②10/18	秋山 肇(平和研究・国際法・憲法)	
	<p>AIと法・憲法・SDGs</p> <p>生成AIをはじめとして、AIについて議論されることが多くなっていますが、法や憲法、SDGsの視点からどのように考えることができるのでしょうか？AIの前提を踏まえつつ、AIの今後について考えていきましょう。</p>	
③11/1	平野 貴大(イスラーム思想史)	
	<p>イスラームと現代:タリバンの女子教育論を中心に</p> <p>日本や欧米においてイスラームに対する偏見に基づいた嫌悪感(イスラモフォビア)が拡大している反面、世界中のイスラーム教徒の人数は急増しています。とくに世界の注目を集めるのがアフガニスタンのタリバンであり、彼らが女子教育を否定しているというデマがメディアで流され続けています。本講座では、タリバンの女子教育論やその場で集めた議題をテーマに、イスラーム教徒との友好的な対話や共存の方法を話し合います。</p>	
④11/15	大倉 沙江(政治学、政治過程論、ジェンダー論)	
	<p>SDGsと自然観・人間観</p> <p>日本は議会におけるジェンダー・ギャップが大きな国として知られています。このような格差は、どのように是正し得るのでしょうか。本講座では、議会におけるジェンダー・ギャップを埋めるための取り組みとして「ジェンダーに配慮した議会」というコンセプトに注目し、格差改善に向けた方策について検討します。</p>	
⑤12/6	五十嵐 沙千子(哲学)	
	<p>哲学カフェ / SDGsについて対話する</p> <p>第1～4回の講座を振り返って自分自身が感じたことをお互いに共有し、哲学者を交えて全員で対話していきます。SDGsにとって最も重要なのは「対話」、そして対話に最も重要なのは「他者の声を聴くこと」とされています。最終回はぜひ、「お互いに聴き合い、話し合う対話」を体験してください。</p>	